

1 沿 革

明治 11 年、現在の本庁行政棟前にある群馬会館の位置に群馬県衛生所が建てられ、衛生関係試験検査業務を行ってきたが、明治 30 年伝染病予防法の制定に伴い、伝染病病原体の分離同定業務の増加により、明治 38 年、旧庁舎の一隅に群馬県細菌検査所を設置した。

昭和 3 年、細菌検査業務の拡大に伴い、現在の県庁構内に庁舎を新築し、理化学試験業務を行うため、群馬県衛生試験所を設置した。

昭和 23 年 4 月、厚生省から「地方衛生研究所設置要綱」が通達され、これに基づいて群馬県立衛生研究所条例（昭和 24 年 11 月 4 日、条例第 49 号）を制定し、細菌検査所及び衛生試験所を統合して群馬県立衛生研究所を設置した。以後、漸次設備の拡充と人員の充実がなされた。昭和 45 年 1 月、前橋市岩神町に鉄筋コンクリート 2 階建（一部 3 階）を新築し、移転するとともに、昭和 46 年 4 月、公害に関する分析、測定および試験研究を専門的に行う機関として、群馬県公害研究センターを衛生研究所に併設し、業務を遂行してきた。昭和 47 年 5 月研究所 2 号棟を増築した。昭和 53 年 4 月、県行政組織の改正により衛生研究所と公害研究センターの統廃合を行い、施設の名称を群馬県衛生公害研究所に改称した。平成 3 年 4 月から調整機能を充実するため副所長を設置するとともに、情報収集・提供及び健康長寿科学研究の推進のために、組織機構を改め 4 部 9 課制にし、充実を図った。平成 4 年 4 月、名称を群馬県衛生環境研究所に改めた。

平成 11 年 4 月、研究所の機能強化と県民に開かれた研究所として前橋市上沖町に新築移転した。

平成 12 年 2 月、環境管理システムの国際標準規格である ISO14001 の認証を取得し、環境負荷の低減に努めると共に、地球環境の保全につながる研究を推進することを「環境方針」として公表した。

平成 13 年 9 月、インターネットホームページを開設し、情報発信機能を充実させた。

平成 14 年 4 月、感染症情報センターが県保健予防課から移管され、地方感染症情報センター機能を備えた。

平成 14 年度、研究機能を充実させるために特別研究制度を設け、4 テーマが採択され特別研究が開始された。

機構と職員数の変遷

組 織 の 改 正		職員数
S.24.11.4	県立衛生研究所設置	5 人
26.4.1	細菌検査係、衛生化学試験係、臨床病理係を置く	14 人
27.4.1	細菌検査係、衛生化学試験係を置く	13 人
33.4.1	課制設置(庶務化学課、細菌病理課の 2 課を置く)	12 人
43.4.1	庶務課、化学課、細菌病理課の 3 課を置く	20 人
45.4.1	庶務課、細菌病理課、公害化学課、食品化学課の 4 課を置く (前橋市岩神町 3-21-19 に移転)	29 人
46.4.1	部制設置(庶務課、生物研究部、環境研究部の 1 課 2 部)公害研究センター(試験検査部の 1 部制)を衛生研究所に併設	45 人
53.4.1	衛生研究所と公害研究センターの統合を行い、衛生公害研究所と改称、庶務課、疫学情報室、微生物部、環境保健部、食品薬品部、生活環境部の 1 課 1 室 4 部を置く	45 人
55.4.1	事務部設置、1 課 1 室 5 部 [事務部(庶務課)、疫学情報室、微生物部、環境保健部、食品薬品部、生活環境部]	45 人
H. 3.4.1	副所長を置くとともに 4 部 9 課制、管理部(総務課、企画情報課)、保健科学部(長寿科学課、細菌課、ウイルス課)、生活科学部(食品化学課、衛生化学課)、環境科学部(大気課、水質課)衛生環境研究所と改称	42 人
4. 4.1	(前橋市上沖町 378 番地に移転)	43 人
11. 4.1		44 人
12. 4.1		43 人
13. 4.1	保健科学部長寿科学課を同健康科学課と改称	40 人
14. 4.1		41 人
15. 4.1	5 グループ制(総務企画、調査研究、微生物、健康科学、環境科学)とするとともに、附置機関として「食品安全検査センター」を設置	49 人

平成 15 年 2 月、初期の目的が達成されたため ISO14001 の登録期限をもって終了した。

平成 15 年 4 月、組織改正により 5 グループ制となった。さらに、生産から流通・消費に至るまで一元的な検査体制の整備を図るため衛生環境研究所の附置機関として「食品安全検査センター」を設置した。

平成 16 年 4 月、4 グループ制となった。さらに、より効率的な監視指導・施策等を推進するため、附置機関であった「食品安全検査センター」を独立した専門機関とした。

平成 17 年 4 月、組織改正により「感染症情報センター」を「感染制御センター」として保健科学グループから独立させ、機能強化を図った。

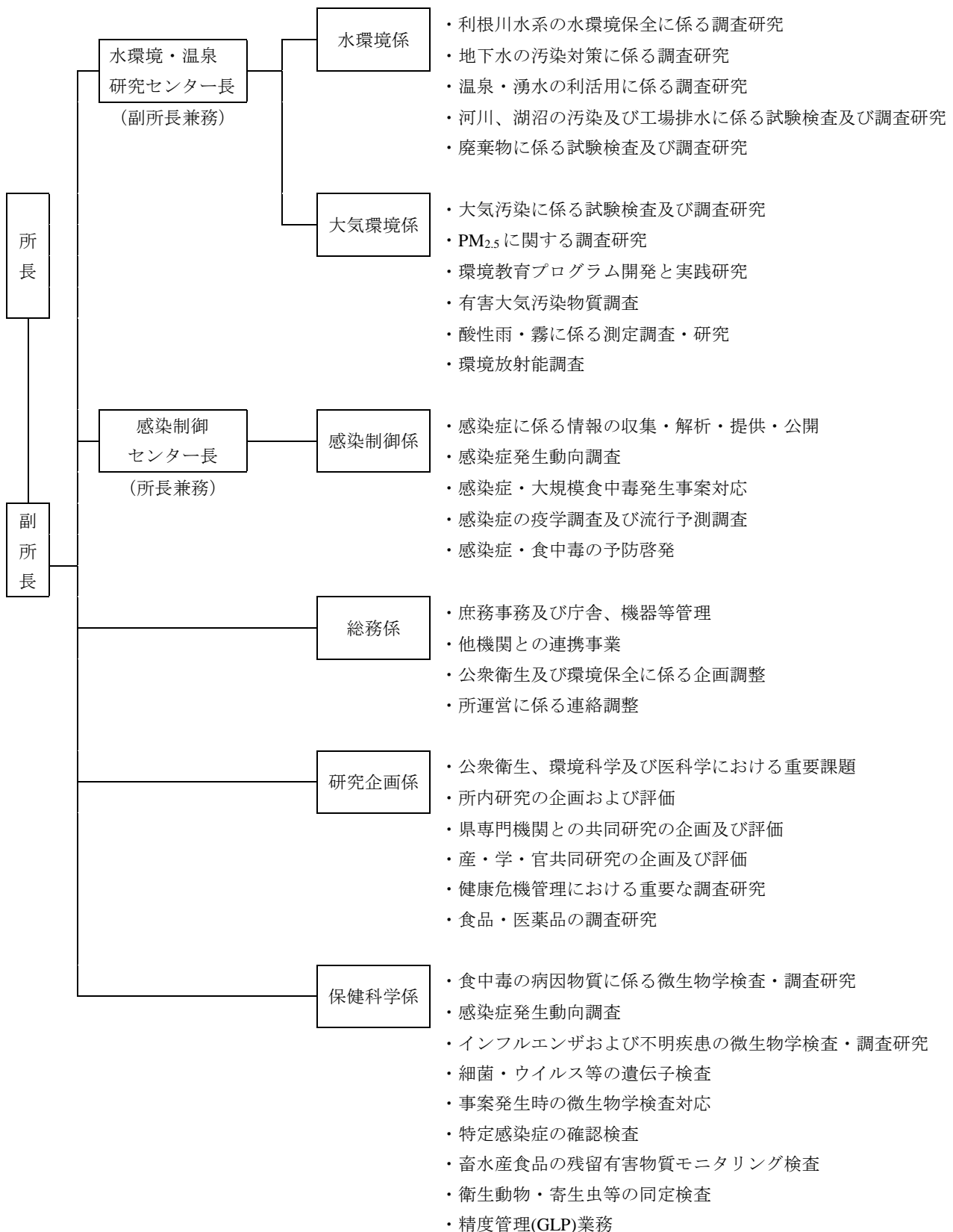
平成 18 年 4 月、環境科学グループの業務を発展させ、県内の水資源を総合的に調査研究するために「水環境研究センター」を設置し、センター内に「水資源・環境グループ」を設置した。また、「感染制御センター」内に「感染制御グループ」を設置し、機能強化を図った。

平成 18 年 10 月 1 日、組織改正により「水環境研究センター」を「水環境・温泉研究センター」とし温泉研究体制の充実を図った。

平成 20 年 4 月、組織改正により、今までのグループ制が係制に改正された。併せて、水資源・環境グループが水環境係と大気環境係に分割された。さらに、総務企画グループが総務係に、調査研究グループが研究企画係になった。

16.4.1	4 グループ制(総務企画、調査研究、保健科学、環境科学)とするとともに「食品安全検査センター」が独立	30 人
17.4.1	1 センター(感染制御)、4 グループ制(総務企画、調査研究、保健科学、環境科学)とする	28 人
18.4.1	2 センター(水環境研究、感染制御)、5 グループ制(水資源・環境、感染制御、総務企画、調査研究、保健科学)とする	29 人
18.10.1	2 センター(水環境・温泉研究、感染制御)、5 グループ制は変わらず	30 人
19.4.1	2 センター(水環境・温泉研究、感染制御)、5 グループ制は変わらず	26 人
19.10.1	2 センター(水環境・温泉研究、感染制御)、5 グループ制は変わらず	27 人
20.4.1	グループ制から係制に組織改正水資源・環境グループが水環境係と大気環境係になり 2 センター、6 係制(水環境、大気環境、感染制御、総務、研究企画、保健科学)となる	27 人
21.4.1	2 センター(水環境・温泉研究、感染制御)、6 係制は変わらず	28 人
22.4.1		30 人
23.4.1		29 人
24.4.1		28 人
25.4.1		27 人
26.4.1		26 人
28.4.1		27 人
29.4.1		26 人
30.4.1		27 人
31.4.1		28 人
R2.4.1		30 人

2 組織と業務内容 (令和2年4月1日)



3 職員一覧（令和2年4月1日）

所 長 猿 木 信 裕
 副 所 長 藤 田 雅 弘
 次 長 松 村 はつみ
 主席研究員（研究企画係長） 李 代 俊 枝
 主席研究員（水気環境係長） 田 子 博

○ 水環境・温泉研究センター

センター長 (副所長兼務)

◎ 水環境係

係 長 (主席研究員兼務)
 主 任 梅 澤 真 一
 主 任 宇 野 悠 介
 技 師 八 木 千 聖
 技 師 吉 野 有 希 菜
 副主幹専門員 町 田 仁

◎ 大気環境係

係 長 熊 谷 貴 美 代
 独立研究員 齊 藤 由 倫
 技 師 坂 本 祥 一

○ 感染制御センター

センター長 (所長兼務)

◎ 感染制御係

主任研究員(総括)(係長) 永 井 みゆき
 独立研究員 大 場 浩 美
 技 師 堀 越 絢 乃
 技 師 島 田 諒

◎ 総務係

係 長 (次長兼務)
 主 幹 石 川 好 美
 主 幹 熊 井 しのぶ
 主 任 室 川 由 布 子
 主幹専門員 斎 藤 敦

◎ 研究企画係

係 長 (主席研究員兼務)
 独立研究員 塚 越 博 之
 独立研究員 木 村 真 也

◎ 保健科学係

主任研究員(総括)(係長) 塩 野 雅 孝
 独立研究員 佐 藤 奈 都 子
 主 任 篠 田 大 輔
 主 任 中 野 剛 志
 技 師 齋 藤 麻 理 子
 技 師 高 橋 裕 子
 主幹専門員 黒 澤 肇

職種別職員数

	医師	獣医師	薬剤師	化学	臨床検査技師	事務	計
所 長	1						1
副 所 長		1					1
次 長						1	1
主席研究員		1		1			2
水 環 境 係			1	4			5
大気環境係				3			3
感染制御係					4		4
総 務 係						4	4
研究企画係			1	1			2
保健科学係		2	1		4		7
	1	4	3	9	8	5	30

4 決算（令和元年度歳出目、節別調書）

（単位：千円）

予算主管課	人事課	管財課	総務事務 センター	健康 福祉課	健康 福祉課	保健 予防課	保健 予防課	業務課	業務課	
目名	人事 管理費	財産 管理費	総務事務 センター費	健康福祉 総務費	衛生環境 研究所費	結核等予防 対策費	感染症 対策費	業務 総務費	温泉保護 指導費	小計①
報酬	691				1,247		44			1,982
職員給与					113,148					113,148
職員手当	5,703			65	62,339					68,107
共済費				21	37,347					37,368
賃金	282			2,818	2,174					5,274
報償費	113				93		129			335
旅費				161	1,516		172		10	1,859
交際費				5						5
需用費				8,628	33,253	770	7,477	109		50,237
食糧費				1	2		7			10
その他需用費				8,627	33,251	770	7,470	109		50,227
役務費				50	1,117	17	317			1,501
委託料			414	2,823	15,197		1,132			19,566
使用料及び賃借料				76	2,857					2,933
工事請負費		821		9,708						10,529
備品購入費				347	18,425					18,772
負担金補助及び交付金				38	278		20		27	363
公課費					68					68
合計	6,789	821	414	24,740	289,059	787	9,291	109	37	332,047

（単位：千円）

予算主管課	食品・生活 衛生課	食品・生活 衛生課	食品・生活 衛生課	食品・生活 衛生課	環境 保全課	廃棄物・ リサイクル課	自然 環境課	工業 振興課		合計
目名	生活 衛生費	食品 衛生費	水道 整備費	食品安全 対策費	環境保全 対策費	産業廃棄 物対策費	尾瀬保全 推進費	工業 振興費	小計②	①+②
報酬									0	1,982
職員給与									0	113,148
職員手当									0	68,107
共済費					3				3	37,371
賃金					1,047				1,047	6,321
報償費									0	335
旅費		32	11		181			47	271	2,130
交際費									0	5
需用費	189	1,807	311	128	8,741	179	20	300	11,675	61,912
食糧費									0	10
その他需用費	189	1,807	311	128	8,741	179	20	300	11,675	61,902
役務費					2,745			3	2,748	4,249
委託料								150	150	19,716
使用料及び賃借料					5,124				5,124	8,057
工事請負費									0	10,529
備品購入費									0	18,772
負担金補助及び交付金			42						42	405
公課費									0	68
合計	189	1,881	322	128	17,841	179	20	500	21,060	353,107

5 主要備品一覧

備品名	メーカー・型式	導入年度	用途
電子顕微鏡装置	日立, 7500・S3500N	1997	保健情報ネットワークの構築
CHEF-DRIII チラーシステム	バイオラッド, 170-3695	1998	遺伝子解析
自動霧水捕集装置	大昌エンジニアリング, DFC-1100	1998	酸性霧の採取
蛍光フローサイトメーター装置	ベックマンコールター(株)	1998	ウイルス検査(免疫検査)
蛍光顕微鏡	オリンパス光学工業(株)	1998	微生物等の検鏡
蛍光マイクロビーズアレイ測定システム	バイオラッド	2002	試料中のサイトカイン等の測定
モニタリングポスト	Aloka, MAR-22	2006	環境放射能調査
ジェネティックアナライザー	Applied Biosystems, 3130	2007	遺伝子の DNA 塩基配列解析
ヘッドスペース GC/MS	Agilent, 7890/5975/ G1888	2007	水中揮発性有機化合物測定
ICP-MS	Agilent, 7500CX	2008	有害大気汚染物質の分析
大気中 VOC 分析装置	Agilent, 6890/5973 + Entech 7100	2008	有害大気汚染物質の分析
分光光度計	島津, UV-1800	2008	TP、Cr ⁶⁺ 等の測定
マイクロウェーブ分解装置	Multiwave 3000	2008	重金属の前処理
リアルタイム PCR 装置	Applied Biosystems, 7500Fast	2009	ウイルス検査
リアルタイム PCR 装置	Applied Biosystems, StepOne Plus	2009	ウイルス検査
検体濃縮装置	MGS-HEAT	2009	検体の濃縮
ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent, 7890A/5975C GC/MSD	2011	水中農薬等測定
純水製造装置	日本ミリポア, Integral 5S	2011	水質分析業務・調査研究
純水製造装置	日本ミリポア, Integral 10L	2011	環境放射能調査
Ge 半導体検出器波高分析装置	Seiko, EG&G	2011	環境放射能調査
イオンクロマトグラフ	日本ダイオネクス(株), ICS-1100	2012	河川水等の分析
Ge 半導体検出器波高分析装置	Seiko, EG&G 製	2012	環境放射能調査
PM _{2.5} フィルター秤量用装置	ザルトリクス・メトロニクス・ジャハン	2013	PM _{2.5} の秤量
熱分離・光学補正式炭素分析計	DRI, 2001A OC/EC 型	2013	PM _{2.5} の炭素成分分析
リアルタイム PCR 装置	Roche, LightCycler [®] 2.0 (DX400)	2014	ウイルス検査
高速液体クロマトグラフ	Agilent, 1260 HPLC	2014	有害化学物質・残留農薬等の分析
マイクロ波試料前処理システム	マイルストーン, ETHOS UP	2015	PM _{2.5} 重金属の前処理
次世代シーケンサー	Illumina, Miseq	2016	DNA 大量同時並列解析
ジェネティックアナライザー	Applied Biosystems, 3500-250BA01	2016	遺伝子の DNA 塩基配列解析
ヘッドスペース GCMS	島津製作所, GCMS-QP2020	2017	水中揮発性有機化合物測定
QIAcube Connect	QIAGEN, 9002864	2019	病原体遺伝子の抽出
QuantStudio 5 Real-Time PCR System	Thermo Fisher Scientific, A28136	2019	ウイルス検査

6 学会・研究会及び会議への出席

(1) 学会および研究会への出席

年月日	学会および研究会の名称	開催地	出席者
2019.5.27	マイクロプラスチック意見交換会	東京	八木
2019.6.7	大気環境学会関東支部総会・講演会	東京	熊谷
2019.6.10-14	国際がん登録学会	Canada, Vancouver	猿木
2019.6.19-21	日本がん登録協議会学術集会	札幌市	猿木
2019.7.10-11	衛生微生物技術協議会第40回研究会	熊本市	齋藤(麻)
2019.8.23-25	日本環境教育学会 第30回大会	北杜市	齋藤(由)
2019.9.4-6	第36回エアロゾル科学技術討論会	東広島市	熊谷
2019.9.18-20	第60回大気環境学会年会	府中市	熊谷、坂本
2019.9.19-21	廃棄物資源循環学会 第30回大会	仙台市	齋藤(由)
2019.9.26-27	第34回関東甲信静支部ウイルス研究部会	宇都宮市	塚越、篠田
2019.10.23-25	第78回公衆衛生学会	高知市	猿木
2019.10.27	関東・東京合同地区獣医師大会・三学会	千葉市	李代、坂野、佐藤
2019.11.1	令和元年度全国環境研協議会関東甲信静支部水質専門部会	静岡市	木村、吉野
2019.11.1	令和元年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第9回公衆衛生情報研究部会	川崎市	永井、中野
2019.11.3-4	第2回環境DNA学会	神戸市	木村、吉野
2019.11.14-15	第46回環境保全・公害防止研究発表会	津市	熊谷、中曽根、坂本
2019.11.20	令和元年度日本水道協会関東地方支部水質研究発表会	川崎市	吉野
2019.11.28	第40回日本食品微生物学会学術総会	東京	佐藤
2019.11.29	令和元年度全国環境研協議会関東甲信静支部大気専門部会	前橋市	猿木、藤田、田子、熊谷、木村、齋藤(由)、坂本
2020.1.31-2.2	第31回日本臨床微生物学会	金沢市	大場
2020.2.13-14	第35回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市	中曽根
2020.2.13-14	第32回地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部細菌研究部会	さいたま市	坂野、佐藤、中野

(2) 会議

年月日	会議の名称	開催地	出席者
2019.4.24	拠点病院がん登録部会	東京	猿木
2019.5.25	令和元年度第1回水環境学会関東支部幹事会	東京	田子
2019.6.5	地方衛生研究所ブロック長等会議	東京	猿木
2019.6.5	地方衛生研究所設立70周年記念事業	東京	猿木、空代、塚越
2019.6.6	全国地方衛生研究所長会議	東京	猿木
2019.6.7	関東地方微小粒子状物質合同調査会議 第1回会議	東京	熊谷、坂本
2019.6.10	科研費研究会議	名古屋市	熊谷
2019.6.13	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に関する研究班会議(木村班)	高崎市	塚越、篠田
2019.6.14	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に関する研究班会議(木村小班, 村上小班)	高崎市	塚越、齋藤(麻)
2019.6.15	令和元年度水環境学会関東支部臨時幹事会・総会・特別講演会	東京	田子
2019.6.24-25	II型共同研究(化学物質)キックオフ会合	つくば市	中曽根
2019.6.24-26	II型共同研究(PM _{2.5})キックオフ全体会合	つくば市	田子、熊谷、坂本
2019.6.27	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究班会議(黒田班)	東京	猿木、塚越
2019.6.28	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究班会議(黒田班)	東京	塚越
2019.7.2	東京都令和元年度大気環境モニタリング検討委員会(第1回)	東京	熊谷
2019.7.23	環境研究総合推進費中間ヒアリング審査	東京	熊谷
2019.7.30	がん診療連携協議会がん登録部会	東京	猿木
2019.7.31	「新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究」清水班会議	東京	猿木、塚越、篠田
2019.8.1	全がん協事務局長面会	東京	猿木
2019.8.5	東京都令和元年度大気環境モニタリング検討委員会(第2回)	東京	熊谷
2019.8.6-7	麻疹・風疹排除のためのサーベイランス強化に関する研究班会議(森班)	東京	塚越
2019.8.19	令和元年度全国環境研協議会関東甲信静支部役員会	横浜市	猿木
2019.8.21	日本病院会会長面会	東京	猿木
2019.9.2	群馬県がん診療連携協議会	前橋市	猿木
2019.9.7	渡邊治雄氏瑞宝重光章祝賀会	東京	猿木
2019.9.13-14	愛玩動物におけるSFTSウイルスの検査体制と報告制度の整備の検討班会議(前田班)	東京	塚越
2019.9.18	感染症サーベイランスシステム(NESID)の次期更改に向けた検討ワーキンググループ会議	東京	塚越
2019.9.26	関東地方微小粒子状物質合同調査会議 第2回会議	東京	熊谷、坂本
2019.10.3	診療情報管理学会理事長面会	東京	猿木
2019.10.7-8	「新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究」猿木分担班会議	東京	猿木、塚越、篠田
2019.10.21	地球温暖化適応センターに関する視察	加須市	田子、熊谷
2019.10.21	地方衛生研究所全国協議会学術委員会	高知市	猿木
2019.10.21	地方衛生研究所全国協議会精度管理部会	高知市	猿木
2019.10.21	第70回地方衛生研究所全国協議会総会	高知市	猿木
2019.10.28	令和元年度「地域保健総合推進事業」に係る関東甲信静ブロック地域レファレンスセンター連絡会議	東京	塚越

年月日	会議の名称	開催地	出席者
2019.11.5-6	II型共同研究(PM _{2.5})Ox・PMグループ会合	つくば市	田子、熊谷、坂本
2019.11.5-6	麻疹・風疹排除のためのサーベイランス強化に関する研究班会議(調小班)	大阪市	塚越
2019.11.12	奈良先端科学技術大学院大学 研究打ち合わせ	生駒市	齊藤(由)
2019.11.13	感染症サーベイランスシステム(NESID)の次期更改に向けた検討ワーキンググループ会議	東京	塚越
2019.11.14	国内ならびにグローバルサーベイランスのためのRSウイルス感染症に関する検査システムの開発研究班会議(木村小班)	高崎市	塚越
2019.11.18	令和元年度国設酸性雨・大気環境測定所担当者会議	東京	坂本
2019.11.22	令和元年度全国環境研協議会関東甲信静支部総会	静岡市	猿木
2019.11.22	令和元年度第2回水環境学会関東支部幹事会・見学会	佐久市ほか	田子
2019.11.25-26	II型共同研究(気象班)グループ会合	つくば市	田子
2019.11.26	PM _{2.5} の測定精度に関する説明会(環境省主催)	東京	齊藤(由)
2019.12.2	令和元年度「地域保健総合推進事業」全国疫学情報ネットワーク構築会議	東京	永井
2019.12.4-5	II型共同研究(分析班)グループ会合	大阪市	田子、熊谷
2019.12.5-6	II型共同研究(成分解析班)グループ会合	大阪市	田子
2019.12.9-10	II型共同研究(瀬戸内班)グループ会合	松山市ほか	田子
2019.12.11	感染症サーベイランスシステム(NESID)の次期更改に向けた検討ワーキンググループ会議	東京	塚越
2019.12.16	我が国の感染症対策のセンター機能の強化に向けた具体的方策についての研究班会議(倉根班調小班)	東京	塚越
2019.12.16	病原微生物検査体制の維持・強化に必要な地方衛生研究所における人材育成及び地域における精度管理に関する協力体制構築に向けた研究班会議(皆川班)	東京	猿木、塚越
2019.12.17	マイクロプラスチック調査に関する情報交換会(第1回)	横浜市	中曽根
2019.12.18	関東地方微小粒子状物質合同調査会議 第3回会議	東京	熊谷、坂本
2019.12.24	NGS実務担当者会議	東京	塚越
2020.1.21	第48回全国環境研協議会総会	東京	猿木、熊谷
2020.1.22	全国環境研機関長会議	東京	猿木
2020.1.22	第2回地衛研ブロック長会議	東京	猿木
2020.1.23-24	第33回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会」および「令和元年度地方感染症情報センター担当者会議	和光市	永井
2020.1.27	2019年度地球環境基金助成事業ごみ減量自治体会議in関東	東京	齊藤(由)
2020.1.27	感染症サーベイランスシステム(NESID)の次期更改に向けた検討ワーキンググループ会議	東京	塚越
2020.2.6	新型コロナウイルス感染症の対応に関する全国衛生主幹部(局)長会議	東京	永井
2020.2.7	班会議(伊藤班)	東京	猿木
2020.2.14	関東地方微小粒子状物質合同調査会議 第4回会議	東京	熊谷、坂本
2020.2.28	環境研究総合推進費アドバイザーボード会合	つくば市	熊谷、田子

(3) 研修会への出席

年月日	研修会の名称	開催地	出席者
2019.4.25	病原体等の包装・運搬講習会	東京	大場
2019.5.20-31	令和元年度機器分析研修(GC/MSコース)	所沢市	坂本
2019.5.31	令和元年度関東甲信静支部ウイルス研修会(初級編)	東京	塚越、篠田、島田
2019.6.18	食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東京	藤田
2019.7.14-15	検体採取講習会	東京	大場、高橋
2019.8.29-30	令和元年度気候変動適応研修	東京	木村
2019.8.30	廃棄物資源循環学会関東支部施設見学会	羽生市、太田市	齊藤(由)
2019.9.9	令和元年度予防接種従事者研修会	東京	中野
2019.9.10-12	令和元年度薬剤耐性菌の検査に関する研修(基本コース)	東京	大場
2019.10.3	令和元年度第2回感染対策講演会	富岡市	塚越
2019.10.6	令和元年度第2回感染対策講演会	富岡市	塚越
2019.10.7-11	新興再興感染症技術研修	東京	齋藤(麻)
2019.10.25	令和元年度全国食品衛生監視員等研修会	東京	佐藤
2019.11.8	令和元年度腸管出血性大腸菌MLVA技術研修会	東京	大場
2019.11.13-14	廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会視察研修会	京都市、大津市	齊藤(由)
2019.11.25	第10回日本医師会・日本中医師会による連携シンポジウム "One Health" 時代を迎えた薬剤耐性対策	東京	坂野、佐藤
2019.11.28-29	第59回温泉保護・管理研修会	東京	吉野
2019.12.2	令和元年度公害健康被害予防事業研修	東京	熊谷
2019.12.6	令和元年度微生物研修会	東京	佐藤
2019.12.10-12	バイオセーフティ技術講習会 基礎コース 第47期	川崎市	篠田
2019.12.13	第9回FDSC食品衛生精度管理セミナー	東京	佐藤
2019.12.17-19	緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法	千葉市	木村
2020.1.23-24	令和元年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京	中曽根
2020.1.29-30	令和元年度希少感染症診断技術研修会	東京	篠田、高橋
2020.2.19-21	令和元年度問題解決型研修(II型共同研究)	所沢市	中曽根

(4) その他

年月日	名称	開催地	出席者
2019.5.15, 22	群馬大学医学部医学科微生物学実習(ウイルス学)	前橋市	柰代、塚越、篠田、齋藤(麻)
2019.6.14	感染症発生動向調査の機能の強化等に向けた担当者説明会	東京	永井
2019.9.12	ラグビーワールドカップ2019日本大会に向けた感染症発生動向の自治体間情報共有の活用のための演習	東京	永井